

事業目的

- 地域の集配拠点や倉庫、トラックターミナル等の物流施設等において、**物流の脱炭素化**に向けて次世代エネルギーである**水素や再生可能エネルギー**等を活用した**先進的な取組**を行う際の**充填・充電設備等の導入**を支援。

事業内容

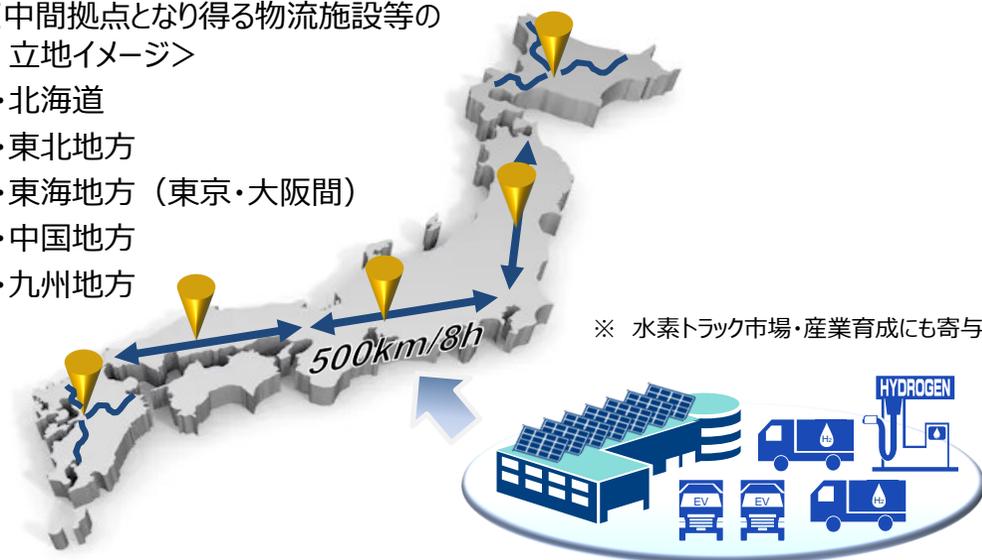
- 国外情勢の不安定化等により燃油価格が高騰を続ける中、資源燃料価格の変動に対応した持続可能な物流の実現に向けて、**車両・施設等の省エネ化・脱炭素化による物流GXは極めて重要**。
- このため、ガソリン車に比べると現時点では航続距離が短い**FCVトラック、EVトラック等の現場での活用促進**に向けて、**幹線輸送や地域内輸送の中間拠点となり得る物流施設等**における**水素・再エネ利用関連設備等の導入**を支援。

※ 燃料の種類ごとの4トン車の航続距離の比較

- ・ ガソリン車 : 700km
- ・ **FCVトラック : 260km**
- ・ **EVトラック : 180km**

＜中間拠点となり得る物流施設等の立地イメージ＞

- ・ 北海道
- ・ 東北地方
- ・ 東海地方 (東京・大阪間)
- ・ 中国地方
- ・ 九州地方



補助率・補助対象等

- | | | |
|-------------------|---|--|
| 【補助率】
1 / 2 以内 | 【補助対象施設】
・ 営業倉庫
・ 貨物(利用)運送事業者の集配施設等 | 【補助対象者】
・ 倉庫事業者 ・ 貨物運送事業者 ・ 貨物利用運送事業者 ・ トラックターミナル事業者等 |
|-------------------|---|--|
- 【補助対象設備等】
・ 水素利用関連設備 (水素スタンド、FCVトラック等)、再エネ利用関連設備 (EV充電設備、太陽光パネル、EVトラック、エネルギーマネジメントシステム等)
・ 上記の導入と一体的に行う先進的な取組に必要な設備・機器類 (トラック予約受付システム、無人搬送機)
- 【補助要件】
・ 水素 : ①水素の製造・貯蔵のための装置・機器等の導入 ②水素を活用する水素スタンド、FCVトラック等を導入する一体的な取組であること
・ 再エネ : ①再エネ電力の購入又は再エネ発電設備(新設)の導入 ②大容量蓄電池、充電設備、EVトラック等車両のうち2つ以上を導入する一体的な取組であること